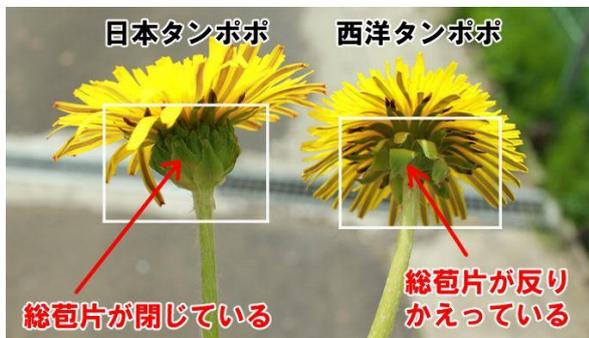




# 近畿支部会報2022年4月号

支部長 A.K

春になると一斉に新芽が出てきて桜、花桃、ハナミズキの花を見ながら散策して楽しんでいます。土筆を見つけて夫が Facebook に載せたところベトナム人のお友達から「これは何ですか？食べられますか？どこで売っていますか？」と聞いてきたので、三人で摘みに出かけました。袋いっぱい摘み、家に帰ってから袴取りをしてから、卵とじを作りました。お友達の感想は「少し苦みがあります。でもヌクナムで炒めるとおいしいかもしれません。」と言いながら食べていました。後日、ヌクナムで炒めるとおいしかったそうです。散策の途中、シロバナタンポポを見つけました。私は広島県出身ですが、家の周りにはたくさん見ることができました。高知県出身の友達に話すと高知県でも見たよって話してくれました。実は日本固有種でもともと西日本にしか生育していなかったシロバナタンポポは、次第に関東、東北へと勢力を拡大しているようで、これは地球温暖化のせいかもしれないとのこと



です。日本の黄色いタンポポとセイヨウタンポポの違いを見つける方法があります。例外もあるようですが、多くの場合、花の下の緑色の部分（外総苞片）が反り返っているものが外来のタンポポ、反り返っていないものが日本のタンポポと考えて、間違いはないようです。見つけてみませんか？

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1. 例会報告	草津市	N.N
2. 第2回サーバス東アジア Online ミーティング		
	着物リメイク	京都市 H.T
	初めての養蜂	久御山町 A.T
3. 東から西から会員からのおたより	保育園のコロナ事情	草津市 N.N
	舞鶴からのたより	舞鶴市 Y.K
4. お知らせとお願い		支部長 A.K

## 1. 例会報告

草津市 N.N

近畿支部お楽しみ例会～支部会員徳田さんの花園を訪ねよう～

日時：令和4年4月10日（日）

参加者：12名

会員：O.N S.S TS N.M N.N H.T M.T M.K E.H

友人：K.M(元会員) M.A(Sさん友人) Y.M(H、Wさん友人)

好天の日曜日 10時すぎにTさんの案内で宝山寺～グリーンテラス(天空の庭園レストラン)～Tさんの花園(西畑の棚田)巡りが始まりました。懐かしいと再会を喜んだり、初めましてと挨拶を交わしたりするお互いでしたが、なぜかずっと知り合いだったような雰囲気を感じたのは同じサーバスというつながりがあるからでしょうか。



宝山寺は京都とはまた違う趣のお寺で木陰を楽しみながら奥の院まで歩いたり、一体一体のお地蔵さまを眺めたりお参りしたりして楽しみました。

ランチの予約時間が11時半ということで、そのまま歩いて目的地へ。知る人ぞ知るといふ抜け道のようなところをぬけていく中、ケーブルカーが近くを通ったり、かわいい花が咲いていたり、静かな木陰道を歩いたり……。

ランチを頂いたグリーンテラスは天空の庭園というその名の通り緑に囲まれ、奈良市内が一望できる素晴らしいロケーションのレストランでした。洋風の建物と装飾にしばし心はヨーロッパへ?! 食事は和洋折衷風で順番に出てくるたびに「かわいい!」「キレイ!」と感嘆の声が。おいしくてステキなお昼のひと時でした。



食事の後は細い山道を車で上がったり下りたり、案内なしでは絶対にいけないようなところでしたが、気が付けば棚田の広がる日本の原風景のようなところに辿り着きました。車を下りてまず目に入った小屋! かわいい〜!

皆がくぎ付けとなったTさんの小屋でした。手作りのビオトープや花壇を見せていただき、その地区の方々と作られたという水車のところまで散策しました。皆思い思いの場所を見つけてほ〜っと自然に溶け込んでいる間、Tさんは小屋の中

へ。お茶の準備をして下さいました☺。Mさんが焼いてきてくださったブラウニーをほおぼりながら、入れていただいたお茶をのみ、またまた至福の時を過ごしました。小屋の中も周りも手造りの思いがあふれていてとてもとても素敵でした。

いつまでも座っていたいという思いを断ち切り(それほどまでに居心地がよかったです♪)、次は小林ガーデンで会いましょう!と大阪へ、京都へ、滋賀へとそれぞれの帰路につきました。



追記:「ウクライナ・キーウ京都市民ぐるみ受入れ支援ネットワーク」が呼びかけているウクライナ避難民の生活費支援寄付金をお願いした所、快くカンパして頂きました。ネットワークの口座に振り込みました。有難うございました。H.T

## 2.第2回サーバス東アジア Online ミーティング

### ～着物リメイク～

京都市 H.T

N会長も私も着物のリメイクが好きで、作ったらよく見せあっていました。第2回東アジア Online ミーティングの報告が日本の当番になったので、主題をSDGsにして、私にもSDGsのNo.12.「つくる責任つかう責任～着物リメイク～」で参加してほしいと連絡があり、お引き受けしました。

テーマを「近年の気候温暖化が産業革命による大量生産と大量消費に端を発しているの、その問題を軽減するために、着物を再利用している事と、物には命があり不要になった物にも命がある、だから不要になったからといって捨てるのではなく、物の命を最後まで大切に作る」にしました。

そして、日本の着物に焦点を当てた筋書きを考え、理解しやすいように写真を多く入れて発表しました。その内容を紹介します。

タイトルは「第2回 Servas 東アジア Online ミーティング SDGs No.12 つくる責任つかう責任～着物リメイク～」として、前文を、「業革命後の大量生産、大量消費は人々に多くの便利を与えた半面、廃棄物汚染、気候変動等多くの環境破壊を引き起こして、地球に多くのマイナスの影響をもたらした事、それらの問題を軽減するために、物の削減、再利用、リサイクルが行われている事、今回の私のプレゼンテーションは私の趣味の一つである“着物の再利用”で、それはSDGs No.12の“つくる責任つかう責任”に関連している」としました。

ストーリーは、日本の伝統的な着物は昔から皆が着ていて、我が家にも母の着物も含めて着物が沢山ある事。私は京都に住んでいるので、多くのサーバスゲストが来る。その人たちと百人一首での坊主めぐり、抹茶を一緒に入れて和菓子と共に抹茶体験、折り紙をする等の日本文化を楽しんだ後、母の婚礼用の振り袖や男性には羽織り、袴を着せてあげると、早速その写真をfacebookで紹介され、すぐに多



若き日の私



くの返事が来て、とても喜んでいただける事。けれども、優雅な着物は活発な動きには適していなくて、テンポの速い現在の生活には不便で、舞妓さんや芸者さんは日常的に着ていて、その美しい姿は皆にとっても人気があるけれども、殆どの日本人は着物を特別な機会、結婚式、劇場での日本舞踊、夏の盆踊り等では着るが、日常的には着ていない事を話しました。我が家にある多くの着物はただタンスに眠っているだけなので、私はこれらの着物を服に作り直している話をして、作った服や着ている姿を写真で紹介しました。そして、私の亡くなった妹の話、妹は末期の胃がんで2年前に亡くなりましたが、その妹の最後の瞬間に妹の娘は妊娠の初期で交通機関を使って妹の所に来るのは危険で、母の最期に会う事が出来なかった、その娘に妹の愛用の服をリメイクして生まれた赤ちゃんの服にしてあげたら、娘は母がいつも自分の側にいるようだとても喜んでくれた事も話しました。

そして、最後に「全ての物には生命がある、不要になったからと言って捨てるのではなく、不要になった物を再利用して、新たな命を吹き込もう。これが SDGs の No.12 “つくる責任つかう責任”である」と結論しました。

### ミーティングに参加して

現在東アジア会議代表は台湾サーバス会長の M さんです。彼女が突然東アジア Online ミーティングを行う、しかも東アジアの加盟国だけでなく、多くの国にも参加を呼びかけると言われたのでびっくりしました。そんな事は東アジア加盟国で機関決定をしていないし、今まで行った事ありません。日本サーバスでも国際サーバスでも新しい事をする時は、所属会員(国)に賛否を問い、賛成が得られたら行っています。このルールを全く無視しての実行のアナウンスでした。でも、中国サーバスが1番バッターで蓋を開けるや、非常に多くの会員が世界各地から参加され、東アジア Online ミーティングを楽しんでいました。今回日本が当番で、私もプレゼンテーションを行うとアナウンスされるや、国内外から「23日にお会い出来るのを楽しみにしています。」という声が聞こえて、日本時間午後8時から始まる予定でしたが、7時半からその人たちとおしゃべりが出来るようにして下さいました。又、ミーティングが終わってからも交流のあるサーバスメンバーからメールを頂きました。見て楽しんで頂けたようで感謝です。今回の日本のプレゼンテーションが参加者全員にどのように受け取られたかはよくわかりませんが、3人の発表とも質問が飛び交っていたし、興味を持ってもらえたかなと思っています。

色々な方とおしゃべりを楽しんだ東アジア Online ミーティング、見て下さった皆様、有難う！！

### ～初めての養蜂～

久御山町 A.T



2年前から趣味で、逃亡癖がある野生のニホンミツバチを重箱式巣箱で飼い始めました。日本には他に明治時代に家畜として輸入された少し大きいセイヨウミツバチもいます。

女王バチは、ローヤルゼリーだけを食べて、毎日1,000から2,000個の卵を産み続け、寿命は2~3年です。働きバチは全て雌で、寿命は1~3ヶ月、巣箱の中で仕事を次々に替わっていき、20日目以降になると外に出て花蜜や花粉を集めて持って帰るようになります。

春になると雄バチが登場します。雄バチは英語では無線操縦で操作する無人機と同じドローン drone と言い、怠け者とか役立たずという意味です。実際、雄蜂は毒針もなく、巣内では一切の仕事もせず、繁殖期以外は無用の存在なのです。



春に新しい女王が誕生すると分蜂が起こります。古い女王が群れの半分ほど

を引き連れて出て行き、新しい女王に巣を引き継ぐのです。この時、あたり一面、飛び回るハチでいっぱいになります。攻撃性は低いですが、近づきたくありません。やがて、近くの枝に集合して蜂球<sup>ほうきゅう</sup>を作ります。女王バチも一緒に捕獲できれば、もう1群が手に入ります。



巣が大きくなると採蜜ができます。ニホンミツバチは、複数の花の花粉や蜜を集めるので『百花蜜』と呼ばれます。採蜜の回数も採れる量も少ないので貴重です。味が濃厚で深みがあり、巣ごと食べる巣蜜は最高です。蜜



蝋でロウソクも作ってみました。お盆に仏壇に灯してお供えしました。

ミツバチを含め昆虫の個体数が減少しています。土地開発で緑地が減少、公園では、花びらが散ったり実が落ちたりする樹木は嫌われ、芝生が一面に広がっています。1970年と比べると、菜の花は5%に、レンゲ草は11%に減少しました。シロツメクサも少なくなりました。土手に生えた草は、花が咲く前に刈り取られます。昆虫の棲家はどこにあるのでしょうか。除草剤や農薬や殺虫剤が使われたりすると昆虫には致命的です。

山では、雑木林が、杉などの針葉樹ばかりの人工林に変わり、花粉症の原因です。鹿の食害も増え、山野がまったく草の生えていない地域もあります。樹皮まで剥がされています。

地球温暖化で、桜など花の開花時期が早まり、ミツバチがまだ活動を始めないのに花が咲くことになります。異常気象で雨が続きとミツバチは飛ばなくなり、蜜が採れません。



花粉を媒介する昆虫が減少していけば、多くの農作物、果物は実らず、農業が衰退します。家庭菜園もできません。ハチがいなければ、朝のコーヒーも飲めなくなります。私たちに出来ることは、蜜源になるような植物を育てること。草むしりをし過ぎないで、野花をいくつか残しておくことではないでしょ



うか。公共施設の敷地には、実のなる果樹を植えた方が、災害の時に食べることができるでしょう。同じ木ばかりの並木よりいろんな種類の樹木を植えてほしいと思います。虫を嫌がる親子も多くなっています。大人も子供も虫に興味をもって、昆虫の素晴らしい役割を知ってほしいと思います。

### 3.東から西から会員からのおたより

#### ～保育園のコロナ事情～

草津市 N.N

今年も新しい園児が入ってくる時期、本来なら活気に満ち溢れている頃なのですが、今年は5歳児クラスの一部休園でなんだかひっそりしています。

緊急事態宣言がだされて休園になったり、一人でも感染者が出たら休園になったりという時を経て、今は濃厚接触者が判明するまでクラス単位で休園という状況です。そのたびに保護者の方々は仕事を休まなければならなくなり大変だと思います。

3歳からはマスク着用でどれだけ効果があるのかわかりませんが、マスク姿が普通になっています。先日4歳児クラスの子どもたちがとても静かにおやつを食べていたので、「食事中静かに食べるって、マナーがいいね。」と声をかけると、「コロナのばい菌に感染したらいけないからだよ。」と言われました。子ども達の中に今の生活が日常化していることを思います。

とはいえ、入園してからずっとマスクの顔しかしない保護者や新しい先生は、マスクを外したらきっとわからないだろうと思います。実際、水分補給でマスクを外してお茶を飲むとき、1歳のころから知っている年長さんから「えーそんな顔やったんや〜」と面白そうな不思議そうな顔で言われました。いざマスクをとってもいい生活環境となったとき、逆になんだか恥ずかしいようなきにもなります(⋈-⋈)

おもちゃは毎日消毒し、とにかく何をすることも消毒除菌です。感染予防に気をつけながら子ども達の成長を見守る日々です。

ざっくりこんな感じの保育園です。子ども達はどんな日常もこんなもんかと過ごし、いつも元気で私もそんな子ども達に元気もらっています。

#### ～舞鶴からのたより～

舞鶴市 Y.K

去年は、雪が12月中頃に一度、また年末にドカッと降りました。12月初めに、車の冬タイヤに変えておいてよかった。近年は雪が少なく、スタットレスタイヤが必要ないくらいでしたが、昨年12月の雪は近年にない大雪で一晩で70cmくらいの積雪でした。今は、舞鶴の街中は、もうすっかり雪はありませんが、青葉山の麓にある私の家の周りは、まだ雪が残っています。青葉山とは693mほどの山で、山の中腹に松尾寺という、西国三十三か所の一つがあり、昔は、松尾寺への参拝者でこの辺りも賑わっていたとのこと。私の先祖の家

も参拝者の為の宿屋をやっていたとか。青葉山の中腹にも以前は沢山人が住んでいましたが、今は数えるほどです。

12月中頃、ちょうど雪が降った日、神戸に住んでいる友人が舞鶴に遊びに来ました。昼食に、鶴昇丸という、かき小屋を予約し、かきを食べに行きました。朝10:30の予約しかできませんでしたが、店は結構、賑わっていました。テーブル



ルにはお好み焼き屋のような鉄板があり、その鉄板で、主人も一緒に3人前の牡蠣を蒸して、たらふく牡蠣を食べました。あとは、牡蠣おにぎりや、牡蠣フライも注文。美味しくて皆、満足です。

12月26日から、舞鶴は大雪でしたが、25日から、東京の主人の実家へ2年ぶりに帰りました。コロナもその時は感染者が少なくなっていましたし、お天气的にも、この日を逃したら、行けないところでした。5日間、主人の実家に泊まっている間、東京は晴天。舞鶴は大雪。舞鶴に一人残された私の母は、少しでも雪かきしようと頑張ったら、首が回らなくなり、正月の間中、身体の調子が悪かったです。昔は、雪が降るとワクワクしましたが、最近、雪が降ると恐さを感じます。

母も会社が始まる頃には、だんだん身体の調子も良くなり、今は、元気に会社勤めをしています。私も午前中だけ、母の仕事を手伝っています。

平日、午後、私の自由な時間がありますので、フェリー（北海道小樽行き）乗り場のある、埠頭を健康のため散歩したり、赤レンガ倉庫に、勉強や仕事や会議ができるコワーキングスペースというのが赤レンガ倉庫を改装してあるのですが、会員登録すると、例えば3時間300円ほどでこのスペースを使えますので、そこで2~3時間、フランス語の勉強等をしたりしています。

コロナが収まり、また自由に旅が出来る、好きなどころに行ける日を夢見て、今は日々なるべく大切に生活しています。

#### 4.お知らせとお願い

支部長 A.K

\*次の例会は、5月29日（日）予備日6月5日（日）『小林ローズガーデン』を予定しています。参加申し込みの締め切りは5月15日です。新型コロナウイルスとの関係で、Zoom オンラインミーティングに変更もあります。

\*2022年度サーバス年会費（一般1000円）未納の会員のみなさま振り込みをよろしくお願いします。

\*住所、電話、メールアドレス等変更がありましたら支部長までお知らせください。

...